

高齢者虐待発見チェックリスト

虐待が疑われる場合の「サイン」として、以下のものがあります。複数のものに当てはまると、疑いの度合いはより濃くなってきます。これらはあくまでも例示ですので、この他にも様々な「サイン」があることを認識しておいてください。

《身体的虐待のサイン》

- 身体に小さなキズが頻繁にみられる
- 太腿の内側や上腕部の内側、背中等にキズやみみずばれがみられる
- 回復状態が様々な段階のキズ、あざ等がある 頭、顔、頭皮等にキズがある
- 臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷跡がある 急におびえたり、恐ろしがったりする
- 「怖いから家にいたくない」等の訴えがある キズやあざの説明のつじつまが合わない
- 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する
- 主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまが合わない

《心理的虐待のサイン》

- かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる
- 不規則な睡眠(悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等)を訴える 身体を萎縮させる
- おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる
- 食欲の変化が激しく、摂食障害(過食、拒食)がみられる 自傷行為がみられる
- 無力感、あきらめ、投げやりな様子になる 体重が不自然に増えたり、減ったりする

《性的虐待のサイン》

- 不自然や歩行や座位を保つことが困難になる 肛門や性器からの出血やキズがみられる
- 生殖器の痛み、かゆみを訴える 急に怯えたり、恐ろしがったりする
- ひと目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすことが増える
- 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する
- 睡眠障害がある 通常の生活行動に不自然な変化がみられる

《経済的虐待のサイン》

- 年金や財産収入等があることは明白なのにもかかわらず、お金がないと訴える
- 自由に使えるお金がないと訴える
- 経済的に困っていないのに、利用負担のあるサービスを利用したらない
- お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができなくなる
- 資産の保有状況と衣食住等生活状況との落差が激しくなる
- 預貯金が知らないうちに引き出された、通帳がとられたと訴える

《世話の放棄、拒否、怠慢(ネグレクト)のサイン》

- 居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている、また異臭を放っている
- 部屋に衣類やおむつ等が散乱している 寝具や衣服が汚れたままの場合が多くなる
- 汚れたままの下着を身につけるようになる かなりのじょくそう(褥創)ができています
- 身体からかなりの異臭がするようになってきている 適度な食事を準備されていない
- 不自然に空腹を訴える場面が増えてきている 栄養失調の状態にある
- 疾患の症状が明白にもかかわらず、医師の診断を受けていない

《自己放任(セルフネグレクト)のサイン》

- 電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している
- 配食サービス等の食事がとられていない 薬や届けた物が放置されている
- ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心になる 昼間でも雨戸が閉まっている
- 何を聞いても「いいよ、いいよ」と言って遠慮をし、あきらめの態度がみられる
- 室内や住居の外にゴミがあふれていたり、異臭がしたり、虫が湧いている状態である

《養護者の態度にみられるサイン》

- 高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる 高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする
- 高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばみられる
- 他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる
- 高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する
- 経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしない
- 保健、福祉の担当者とうの嫌うようになる

《地域からのサイン》

- 自宅から高齢者や介護者・家族の怒鳴り声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる
- 庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相(草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ゴミが捨てられている)を示している
- 郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や新聞でいっぱいになっていたり、電気メーターがまわっていない
- 気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる
- 家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当等を頻繁に買っている
- 近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる
- 高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる